

昨年に続いてオートメッセに出演された3S-Gターボ搭載のJZA80スープラ。マッキー牧原は「今年はチューニングの原点に戻ってストリートを中心にガンガンいくでえ」と言っていたものの…やっぱGTカーの過激なマシンは入場者のハートを刺激したようだ。

このスープラは昨年の5月、ワダQのドライブでセントラル1分24秒375を計測している。そしてその後もテストが繰り返されてタービン変更(GT3037SからGT3240)、カムシャフト変更(264/272から272/272)、ボルト形状などヘッド回りの構造変更などが施され、パワーはフースト1.2kg/cm<sup>2</sup>でオーバー600psを絞り出している。そして耐久性もさらに向上しているとのこと。足回りだってメンバーをリジット化することでまるでレーシングカーのようなダイレクトな動きが引き出されている。問題は輪荷重が特殊なこのマシンにタイヤをこうマッチングさせるかだ…。今後はセントラル一分22秒台を目指さうにタイムアタックが進められいくことになる。そしてこの次にはまたもやアップ&驚くプロジェクトが控えているそうだ。

昨年に続いてオートメッセに出演された3S-Gターボ搭載のJZA80スープラ。マッキー牧原は「今年はチューニングの原点に戻ってストリートを中心にガンガンいくでえ」と言っていたものの…やっぱGTカーの過激なマシンは入場者のハートを刺激したようだ。



多年はストリート仕様を中心としたプロジェクトをいくつか横討中、まあ楽しむにしそうでや!



→ ↑ 3S-Gターボは低く後方にマウントされている。そしてインタークーラーは前方斜めにセットされ、走行風はバンパー開口部からボンネットエアダクトへ抜けていくのだ

## GTカーティストのSA80 スープラはやっぱ目立つぜ!

AUTO MESSE  
注目度NO.3  
トライアル



スープラ(JZA80)

トライアル ☎ 0723-69-3539



### オシャレな快適ストリートマシン

エクステリアはトライフォースのエアロパーツ&ホイール、そしてAX53B-70やクアントムサスペンションキットなどによってスポーティな走りが引き出されている。カッコ良くて気持ち良く走れる…これがトライアルの推奨する快適ストリートマシンだ



OTHERS

### 出展車両ラインアップ



RB26をスワップした430ps仕様のECR33、GT2530をドッキングさせたS14、オリジナルコンピュータを使ったブーストアップ仕様のBG5。この3台もトライフォースのエアロパーツでカッコ良くなっている

